

2017年度インスパイア・ハイスクール

北高れくちゅあ 2017 ー人類学リレー講義ー

人類学への招待

フィールド調査によって得られた知見をもとに、私たちの社会とは、人類とは何かを考える人類学を、著名・新進気鋭の人類学者を招いてリレー講義で学んでいきます。本校生徒、保護者、地域のみならずみなさまもご参加いただけます。フィールドに出ること、研究することの楽しさを味わってください。

場所：講義棟

担当：北村也寸志

■第1回

9月30日（土） 「野生チンパンジーから見た人類」

14:00～ 講師：山越 言

京都大学大学院アジアアフリカ地域研究研究科 准教授

■第2回

10月7日（土） 「カナダ・カスカ族に学ぶ、動物と話す3つの方法」

14:00～ 講師：山口未花子

岐阜大学地域科学部 助教

■第3回

11月11日（土） 「不安定で不確実な社会を生きる——マツタケが教えてくれること」

14:00～ 講師：赤嶺 淳

一橋大学大学院社会学研究科 教授

■第4回（調整中）

11月25日（土） 「スポーツハンティングとは、なにか。

ー狩猟を通して、人間を考えるー」

14:00～ 講師：安田章人

九州大学基幹教育院人文社会科学部門 准教授

■第5回（調整中）

12月16日（土） 「音楽を通してアフリカを学ぶ

ーポリリズムで感じるアフリカンリズムー」

14:00～ 講師：矢野原佑史・堀高まなほ

京都大学アフリカ地域研究資料センター 研究員

2017年9月11日

生徒・保護者のみなさんへ

北高れくちゅあ2017
担当：北村也寸志（理科）

人類学リレー講義「人類学への招待」の案内

生徒のみなさんは、課題研究で何をどのようにして調べたいと考えていますか？卒業後の進路は、どんな方面に進もうかと考えていますか？日本から離れた地域で、人々はどのように自然と向き合い、生活をしているかを考えてみたことはありますか？

そんなことを考えているみなさんのために、本校理科では、人類を自然科学から人文社会科学にかけて幅広く扱う人類学の研究の最前線を、5回にわたってみなさんにお届けしようと考えています。

今回講義していただく6人の先生は、いずれも研究したい人々の住む地域にまで出かけて、ともに生活をしながら、研究に必要なデータを取るフィールドワークを主な研究手法とされています。講義では、それぞれのテーマに沿ってフィールドワークの面白味、研究することの楽しさ、そして人類学の魅力も語っていただきますので、課題研究や進路研究の助けになること間違いありません！講師の先生には、所属する大学のオープンキャンパスで配布された資料等を持って来ていただくようお願いしています。

また、第2回の講義は、カナダ先住民族のお話です。2年生にとっては修学旅行前の格好の事前学習となるでしょう。いずれの先生も高校1年生でわかる優しい表現で講義してくださるので、遠慮なく参加してください。

保護者のみなさんは、ご近所の方お誘いのうえお越してください。参加される場合、人数をご子息を通じてお伝えください。

☆ 参加する人は、以下の点に注意してください。

- (1) 配布資料を何枚印刷するかなどの準備の都合上、開催する週の前半に、参加予定数の調査をします。
- (2) 講義は土曜日午後2時からです。当日は、会場の講義等を12時半ころから開けておきます。午前中、部活だった人は昼食後、講義棟で自主学習をするなどして待機してください。
- (3) 講義棟で食事をとることはできませんが、水筒ペットボトルの持ち込みは認めます。
- (4) 校外から参加される方は、車での入校はご遠慮ください。
- (5) 講義の各回で、講義の準備・受付などをサポートしてくれる生徒ボランティアを募集します！